

組付要領書及び部品表

Takakita

コンポキャスト

日農工標準オートヒッチキット0L

CC-0L

適応機種

BC3500(D)

BC3501(D)

CC3530(D)

CC3531(D)



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。



株式会社 **タカキタ**

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**コンポキャスト用日農工標準オートヒッチ**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けください。

また、ご使用前にはブレードキャスト本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付して、お渡してください。
- この取扱説明書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または弊社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警告サイン

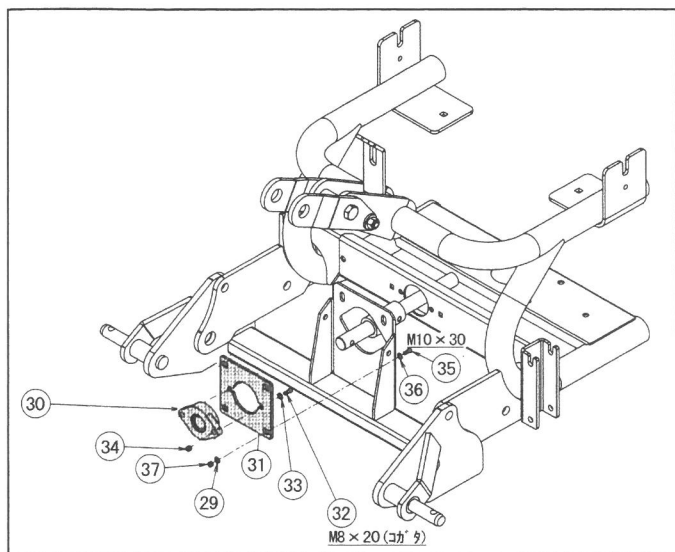
⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- (3) ②⑥中間シャフトと③⑩ベアリングの芯が合っていることを確認し、③⑪ブラケット固定の③⑮ボルト、③⑯ヒラザガネ、③⑰スプリングナットを締め付けてください。

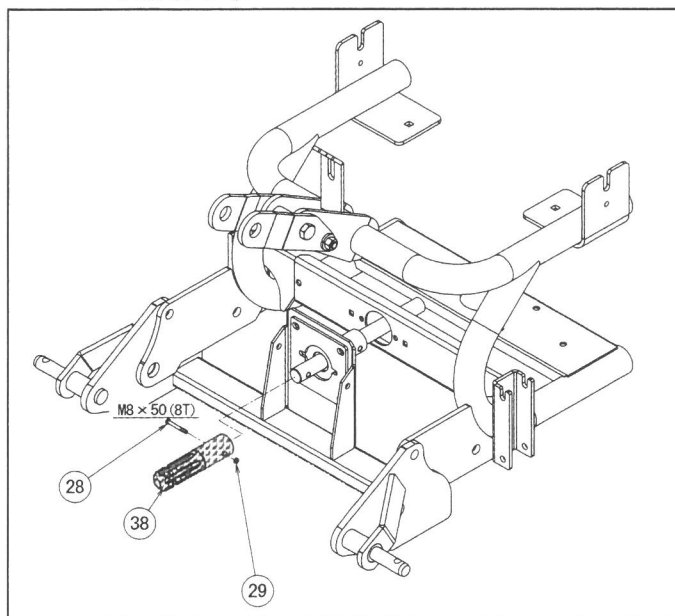


注意

②⑥中間シャフトを③⑪ブラケットの③⑩ベアリングに組込む時は、②⑥中間シャフトがスムーズに回転するようにしてください。

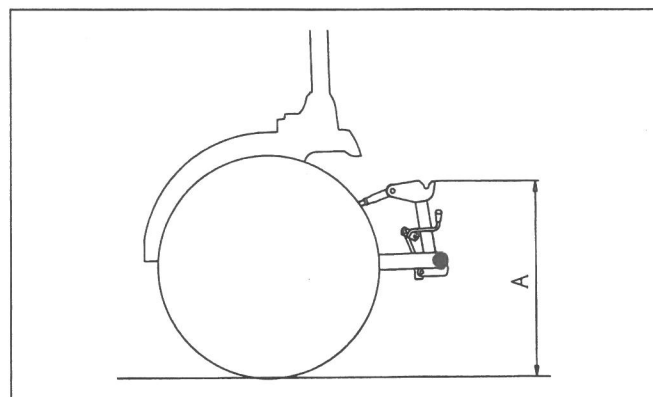
②⑥中間シャフトを無理に組付けると、軸折れ等の原因となります。

- (4) ③⑱スプラインシャフトを②⑥中間シャフトへ③⑲ボルト、③⑳ナイロンナットで組付けてください。



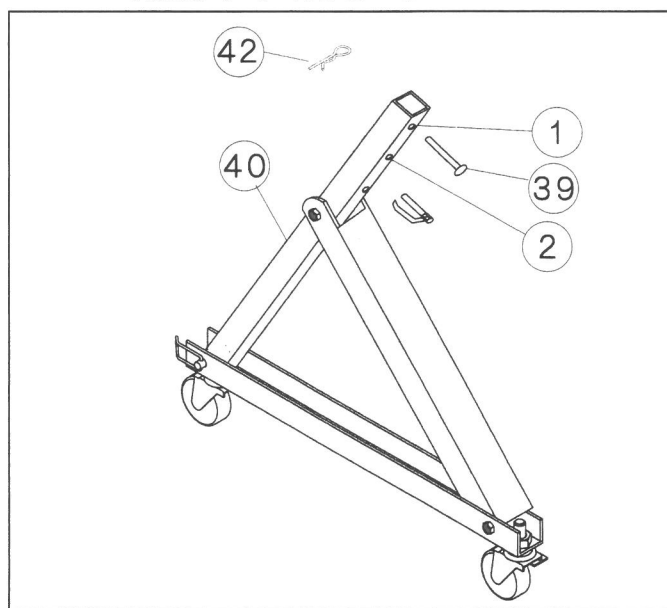
[3] スタンドの取付け

スタンドの高さは、二段階に調整できます。トラクタに装着されているヒッチの最下げ時の地面からの高さAを測定していただき、下表を参照にスタンドの高さを決めてください。



Aの高さ	リベットピンの位置
820～930mm	①
820mm 以下	②

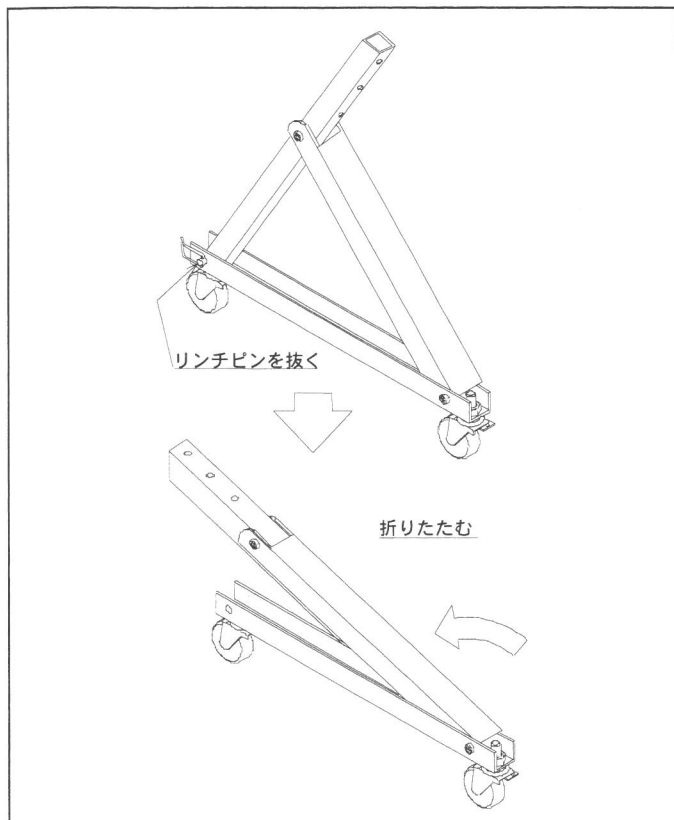
③⑲のリベットピン(φ10×65)を④⑩スタンドの①穴または②穴に入れ、④⑪アールピンで組付けてください。



スタンドの格納

トラクタへ装着後、折り畳んで格納することができます。

・リンチピンを抜き、折り畳んでください。



〔4〕 スタンドの組付け

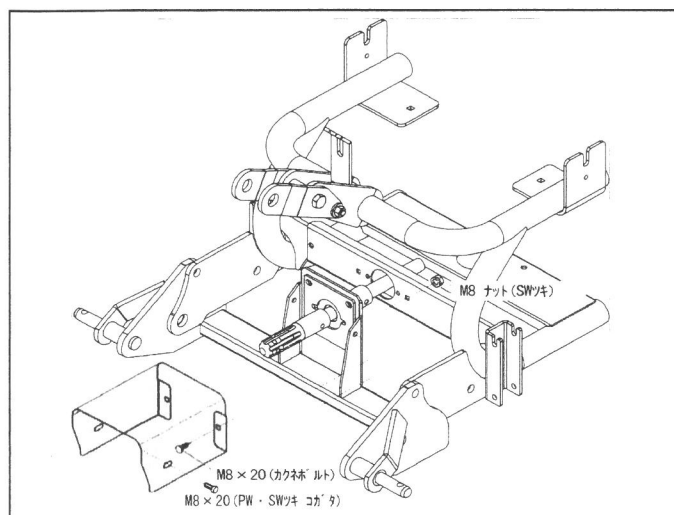
右図のように、リンチピンでスタンドを組付けてください。

〔5〕 仮ドッキング

スプラインシャフトを手で回し、カクハンアーム、スピナーがスムーズに回ることが確認できましたら、トラクタにドッキングしてください。

〔6〕 カバーの組付け

最後にカバーを組付けてください。



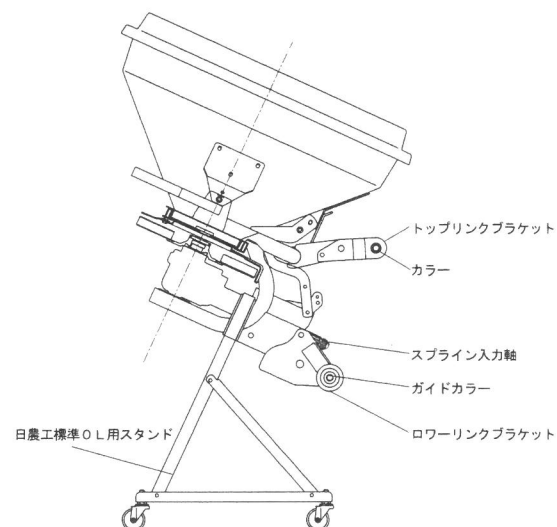
！ 注意

使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締付けられているか必ず確認してください。

注意

- 本機の装着後、トラクタのローワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。

組み付け完成図(日農工標準オートヒッチ I・II)



作業時の注意

以下の点を怠るとPTO軸の折損の恐れがありますので注意してください。

- ヒッチを大きく上げたままPTOを駆動させると、ジョイント角度が大きくなります。必ずPTO駆動をOFFにしてください。
- ヒッチのユニバーサルジョイントのジョイントチューブに固着や長さ不良(ドン突き)が無いことを確認してください。
- 作業機の姿勢が±5度以上傾斜している場合は、トップリンクの長さを再調整して、作業機の姿勢を水平より±5度以内になるようにしてください。